

# 開館カレンダー

良い年になりマウスように♪



…休館日

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

## おはなし会

- あんころもち  
対象：0～3才  
日時：火曜 14時～
- 土曜日のおはなし会  
対象：3才～  
日時：土曜 14時～
- わ・わ・わぼっとで  
おはなし会  
対象：5ヶ月児～就学前児と  
その保護者  
日時：毎月第2水曜と最終日曜の  
11時～  
会場：子育て支援センター

## 学芸部だより⑤

碑文が伝える近代鹿島～頌徳碑編～  
勝屋弘義翁頌徳碑

祐徳稲荷神社



近代の特徴のひとつに、交通の発達に伴う観光の隆盛があります。鹿島でも、神仏分離によって、黄檗宗寺院祐徳院と分離し、神社として新たなあゆみをはじめた祐徳稲荷神社が有数の観光地へと成長します。

神社の整備に尽力したひとりが第4代・第6代の宮司となった勝屋弘義です。鹿島鍋島子爵家に仕えていた勝屋は祐徳稲荷神社に入ると、長年の懸案だった本殿の改築を成し遂げます。その後も、休憩所や外苑を建設します。有明線（現在のJR長崎本線）の開通にも重なり、祐徳稲荷神社は鎮西日光として全国に広く知られるようになりました。

こうした勝屋の功績を後世に伝えるため、昭和39年（1964）祐徳稲荷神社外苑に頌徳碑が建てられました。

## 司書のひとりごと…

いよいよ受験シーズンも大詰めを迎え、図書館で真剣に勉強する学生が増えました。

一心不乱に問題を解く学生、心地よい眠りに入ってしまう学生、数人で教え合う学生、マンガを読んで現実逃避している学生…いろんな姿があり、何だかこちらもハラハラします。

ちなみに、高校生からはエイブル2階学習室も使うことができます。

どうか、みんなの夢が叶いますように！悔いが残らないよう、ベストを尽くせますように！我々は、カウンターからエールを送り続けています。(Y)

かしましみんとしよかんだより

# みんと

- 恒例！としよかん福袋
- ウラケン・ボルボックスさん講演会の  
お知らせ
- ふゆの特大おはなし会のお知らせ
- 苔玉づくりワークショップ(報告)
- 館長コラム
- 新着図書案内
- 学芸部だより⑤



2020年1月 218号

## 謹賀新年

本年も鹿島市民図書館を  
よろしく願い申し上げます。

### 年末年始の休館のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
			12月 25	26	27	28
29	30	31	1月 1	2	3	4

◆ 1月4日（土）は  
13時～17時の開館です。

恒例！

## としよかん福袋

1月4日（土）13時～

図書館員が選んだ本3冊が入った「としよかん福袋」を、貸出します！！

どんな本が入っているかは、借りてからのお・た・の・し・み♪  
ステキなおまけも入っています♡♡♡図書館カードを持って来てくださいね♡♡♡

1月18日（土）  
14時～15時

## ウラケンさんに聞いてみよう！ イラストレーターってどんな仕事？

鹿島出身のイラストレーター、ウラケン・ボルボックスさんとコラボ！！  
好きなことを仕事にするヒントがもらえるかも？！

ところ：エイブル3階 研修室

★ 電話またはカウンターにて受付中！  
鹿島市民図書館 ☎ 0954-63-4343

定員  
50人  
参加無料

ウラケン・ボルボックス  
鹿島市出身。  
イラスト、マンガ、広告、  
Web、書籍等を中心に活動中。

## 鹿島市民図書館



一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団  
〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1  
鹿島市生涯学習センター エイブル

http://www.library.city.kashima.saga.jp  
TEL：(0954) 63-4343 FAX：(0954) 63-2217  
2019年12月25日発行

# 新着図書案内

『てんきち母ちゃんの太らない！日持ちおかず』  
井上 かなえ：著 扶桑社



無理なくダイエットを続けるために、おいしさにこだわった日持ちするおかずのレシピ集。ダイエットだけでなく、将来健康でいられるための食事について考えるきっかけにもなります。

『ちがうものをみている』  
のえみ：作 石風社

特別支援学級の教諭である著者と子どもたちとの交流が漫画で描かれています。子どもたちの生き生きとした日常は、とても愛おしく、豊かな気持ちにさせてくれます。心がじんわり温かくなる1冊。



『まち』  
小野寺 史宜：著 祥伝社



火事で両親を亡くした主人公・瞬一は、その原因が自分にあるのではと思い続けている。祖父に背中を押され、東京で暮らし始めた瞬一は、強く優しく成長していく。ある日、突然祖父が東京に来ると言い…。

『ゲーム依存からわが子を守る本』  
花田 照久：監修 大和出版

やめられないのは、心の弱さのせいではない。ネットゲームは苦しみを解消し、生きていくための心の杖。取り上げるのは逆効果！依存の裏にある子どものSOSに気づいて、親子で抜け出す解決法を見つけましょう。



『貴乃花 我が相撲道』  
石垣 篤志：著 文藝春秋



平成の大横綱・貴乃花。半年間の密着インタビューをもとにした回顧録。婚約と破局、兄への思い…世間を賑わせた様々な出来事の真相を本人が語り尽くします。

予約サービスをご利用ください！  
来館・電話・ウェブにて予約することができます。



2月1日(土)

とき:14時~15時30分

ところ:いきいきルーム

(エイブル階保健センター内)

★たのしいおはなし

★マジックショー

★こうさく

※ 持ってくるもの

・のり

・色えんぴつ

(またはカラーペン)



だれでも参加できます！

みんな来てね♪



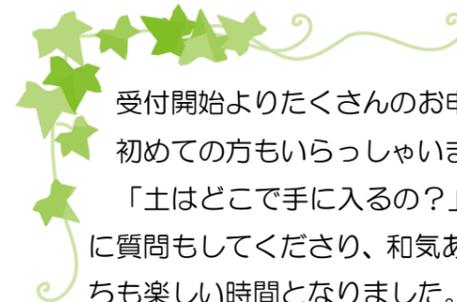
こんにちは、図書館長です！

## 『道具を作るカラス』

イソップ寓話に『カラスと水差し』という話があります。喉の渴いたカラスが水の入った水差しを見つけました。しかし、水の量が少なく水面までくちばしが届きません。そこで、水差しを力任せにひっくり返そうとしましたが、しっかりと固定され倒せません。カラスは一計を案じました。かたわらの小石を水差しの中に入れ始めたのです。その結果、入れた石の分だけ水嵩が増し、カラスは水を飲むことができたそうです。つまり、ものごとの解決には力ではなく知恵が有効だと教えているのです。

この寓話のように、カラスの利口さは広く知られており、国内ではクルミを割るカラスの話が有名です。クルミはカラスの大好物ですが、その殻は非常に硬くて容易に割ることはできません。そこで、カラスはクルミを自動車に轆かせるという方法を考えたのです。この行動は先天的なものではなく、試行錯誤の結果として身に付けた知恵だそうです。ちなみに、あるカラスは信号機で停車している車のタイヤの前にクルミを置き、安全に効率よくクルミを割る術を習得したという話もあります。

## 苔玉づくりワークショップ（報告）2019.12.1 図書館内

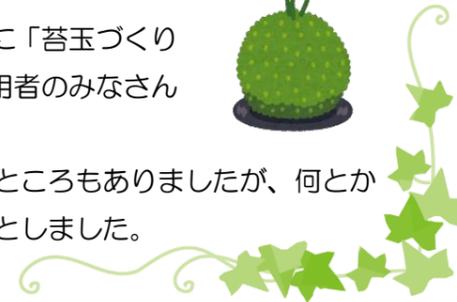


受付開始よりたくさんのお申込み、ありがとうございました。初めての方もいらっしゃいましたが、みなさん手際よく作業されていました。

「土はどこで手に入るの?」「水やりの方法は?」など熱心に質問もしてくださり、和気あいあいと楽しい雰囲気、私たちも楽しい時間となりました。

後日、本を借りに来てくださった利用者の方に「苔玉づくりの時の方?」と声をかけていただきました。利用者のみなさんとの距離が少し縮まったように感じました。

苔の種類が違っていただけ、少々作りにくいところもありましたが、何とか形にして持ち帰っていただくことができてほっとしました。



図書館長 前田英明